

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月06日

計画の名称	流山市都市防災事業計画（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～平成31年度（1年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	流山市												
計画の目標	本市が平成29年度に修正した地域防災計画では、東京湾北部地震（冬18時）における避難者を25,520人と想定している。避難者の大半は、体育館等のある大規模な避難所である小・中学校に避難すると想定される。今までは、一部の学校において、空き教室を活用し防災備蓄倉庫を整備してきたが、つくばエクスプレスの開通に伴う人口増加による児童・生徒数の増加の影響で、空き教室を活用できなくなる学校がでてきたことから、同学校の敷地内に防災備蓄倉庫を設置する必要がでてきた。その目的は、防災資機材を確保し、被災者の生命を守ること、さらには、生活必需品を備蓄することで、避難者の生活を確保することを目指すものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成31当初	平成31当初	平成31末
1	防災備蓄倉庫等に備蓄する食糧について、備蓄率を98%に増加させる。 備蓄食糧について、本市の避難者想定数（25,520人）の1日3食3日分（229,680食）に対する備蓄率	92%	92%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	流山市	直接	流山市	-	-	都市防災総合推進事業(防災まちづくり拠点)	防災備蓄倉庫の整備2か所	流山市						5		策定済	
												小計						5		
												合計						5		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業実施主体である流山市防災危機管理課が実施	令和4年度
	公表の方法
	市のホームページに公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	児童・生徒増加により、空き教室を使用できなくなったため、学校施設内に新たに防災備蓄倉庫を設置し、備蓄品保管場所の確保が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	なし
特記事項（今後の方針等）	
備蓄食糧及び防災資機材を引き続き整備し、流山市備蓄計画に沿って、備蓄率の向上を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	防災備蓄倉庫に備蓄する食糧の備蓄率（%）	備蓄品は、食糧の他、生活必需品や資機材等を一括して購入しており、食糧外の備蓄品の備蓄率も勘案し購入した結果、目標値まで備蓄食糧を購入することができなかった。しかしながら、毎年度、備蓄品は整備を進めていることから、来年度に目標達成する見込みである。
	最終目標値	
	最終実績値	97%